2022

一般社団法人 徳島県作業療法士会

認知症に関する活動計画（概要）

徳島県作業療法士会では、当士会が作製した、認知症予防だけに留まらない、新しい介護予防ツール“ラシーサカード”を使用した介護予防活動を、県内で広く展開していくために、市町村の依頼に応じ、サロンや介護予防教室において、市民向けの講習会を積極的に行っています。

また、県内の作業療法士会員に対し、認知症研修の開催、認知症OTカフェを実施し、認知症に関わる作業療法士の資質向上に努めています。

サロンでの研修会の様子

新しい介護予防ツール“ラシーサカード”の普及に関する活動事業

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、サロン活動が行われず、チラシを作成し、各市町村に配布させていただきました。今年度に入り、県内４つの市町村から問い合わせがあり、普及に向けて、研修会や体験会を行う予定です。また、阿南市では既にカードが各サロンに配布され、使用し始められています。

県内の作業療法士に対しても、使用研修を行い、各地域にて介護予防活動が実施できる人材を育成しています。また、県外の県士会会員の参加も受け付け、県外への普及にも取り組み始めています。

新しい介護予防ツール『ラシーサカード』研修会

リモート開催のご案内

会員向け事業

アルツハイマーデーに合わせ、県内の作業療法士向けに、認知症研修を実施しています。昨年度は、神戸学院大学の小川真寛先生をお招きし、“作業に焦点を当てた認知症のある人の作業療法の実践”をテーマに、研修会を実施し、45名が参加しました。今年度も、10月に人間作業モデルと認知症をテーマに、研修会を実施する予定です。

また、日ごろ認知症の方に対してアプローチを行っている作業療法士が、ざっくばらんに悩み事などを話すことができる、”認知症OTカフェ“を実施し、会員の資質向上と同時に、困りごとの吸い上げを行い、研修テーマに活かすようにしています。

作業に焦点を当てた
認知症のある人の作業療法の実践
～プール活動レベル(PAL)のご紹介～
リモート研修会のご案内
講師：神戸学院大学総合リハビリテーション学部　小川　真寛先生

COVID-19の影響・対応など

当士会が作製した“ラシーサカード”は、会話を中心としたレクリエーションツールであり、各地域においてサロン活動が自粛されたことと相まって、実際に地域で活動する機会は、限られました。

地域で研修を行う際には、参加者の配置を工夫するなどし、感染拡大の予防に努めました。

県内の会員に対する研修は、全てリモートでの研修の実施としました。

認知症OTカフェの様子